

令和 6 年 12 月定例教育委員会会議録

日 時	令和 6 年 12 月 24 日（火）13 時 30 分～16 時 00 分
出席委員氏名	松本教育長、酒見委員、山口委員、西山委員、藤田委員
出席を求めた事務局職員	教育副部長兼教育総務課長（松本）、学校教育課長（杉原）、生涯学習課長（伴）、市民図書館長（鴻上）、スポーツ課長（金子）、国スポ・全障スポ推進課長（松尾）、学校教育課学校支援係長（田中）
議案等	報告第 23 号 令和 6 年伊万里市議会第 4 回定例会議案に対する教育委員会の意見について 報告事項 令和 6 年伊万里市議会第 4 回定例会について
傍聴者	なし
開会 教育長あいさつ	ただ今から、令和 6 年 12 月の定例教育委員会を開催します。 本日は私のほか、委員全員ご出席いただいておりますので、 本会は成立となります。
議事録署名者の指名	酒見委員、西山委員
教育長	前回会議録の報告・承認に移ります。報告をお願いします。
事務局	11 月定例教育委員会の概要を報告します。11 月定例教育委員会は、11 月 28 日（木）、第 3 会議室において教育長及び委員全員出席のもと、開催しました。議事録署名者として、山口委員、藤田委員を指名させていただき、前回会議録の報告を求め、承認をしたあと、教育長の報告を受け、議案・議事の審議に入りました。はじめに、報告第 22 号「教育委員会人事異動について」報告を行いました。次に、12 月定例教育委員会の日程について協議し、12 月 24 日（火）13 時 30 分から第 3 会議室で開催することに決定しました。 最後に、議案第 18 号「伊万里市文化財保護審議会委員の委嘱について」人事案件であり個人情報を含むため、非公開で審議を行い、議案のとおり承認されました。以上、前回会議録についての報告となります。

教育長

前回会議録についての報告がありましたが、ご質問等はございませんでしょうか。（なし。）ただ今の報告のとおり承認してよろしいでしょうか。（はい。）それでは、前回会議録については承認とします。

教育長

次に教育長の報告です。

今年は創立 150 周年を迎える小学校が多く、12 月 1 日に大川内小学校の記念式典がありました。同日、市民音楽祭もあり、教育部長が講評を兼ねて閉会の挨拶を行いました。2 日には啓成中学校から男子駅伝の全国大会出場の表敬訪問がありました。全国大会を放送でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、アンカーが頑張って順位を上げましたが、全国の壁は相当厚いというのを彼らも実感したのではないかと思います。

15 日は小学生の伊万里ジュニア駅伝大会名村カップがあり、非常に寒い中でしたが、子ども達は頑張っていて、あとあと中学校の駅伝の選手として育っていくのだなと感じました。

また、「市長と話そうあしたの伊万里」は、12 月に 5 か所、二里町、南波多町、大川内町、黒川町が終わりまして、12 月 26 日に山代町があります。

以上、私からの報告です。ご質問等はありませんか。（なし。）

教育長

それでは、議案・議事の審議に入ります。本日は報告が 1 件、報告事項が 1 件となっております。

それでは始めに、報告第 23 号「令和 6 年伊万里市議会第 4 回定例会議案に対する教育委員会の意見について」事務局から説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長

（報告第 23 号について説明）

【条例議案】

- ・伊万里市立学校設置条例等の一部を改正する条例制定について（東山代小学校の校舎建築に伴う位置の変更）

【予算議案】

- ・令和 6 年度伊万里市一般会計補正予算（第 6 号）について（※各課から説明）

学校教育課長

- ・学校行事等支援事業（全国大会等出場費補助金）

教育副部長兼教育総務課長

- ・教育振興奨励基金（給食費補助財源確保分）
- ・東陵学園等整備事業 ※校章の決定報告
- ・中学校管理事業

学校教育課長
生涯学習課長
スポーツ課長

- ・ 中学校遠距離生徒通学支援事業
- ・ 指定文化財保護促進事業
- ・ 競技スポーツ全国大会等出場支援事業
- ・ 散弾銃射撃場環境対策事業

教育長

報告第 23 号について、ここまででご質問等がございましたらお願いします。（なし。）

では、継続費、繰越明許費、債務負担行為まで説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長
市民図書館長
学校教育課長

- （継続費）・ 東陵学園等整備事業
- （繰越明許費）・ 図書館改修事業
- （債務負担行為）・ 中学校等教師用教科書・指導書購入費
- ・ スクールバス運行业務委託料

教育長

ご質問等がございましたらお願いします。

酒見委員

4 月に開校する東陵学園のスクールバスの利用者数はどのくらいで計画されていますか。

学校教育課長

東陵学園のスクールバスの対象児童は 2 km 以上としておりますが、2 km 以内の児童についても安全確保の必要があるため、スクールバスの対象となります。人数については、児童クラブを利用する子など、現在確認中のため、未だ確定していません。

酒見委員

バスは 1 台ですか。

学校教育課長

各町 2 台ずつ運行し、1 度学校で児童を降ろし、再び迎えに行くような運用になる予定です。バスの大きさも状況を確認し決定していくことになります。

西山委員

東陵学園のスクールバスの運行には、国からの 5 年間補助があったりしますか。波多津小学校の統合の際には、補助があったかと思いますが、東陵学園は市の財源のみですか。

学校教育課長

波多津小学校はへき地に該当するため、国のへき地児童生徒援助費等補助金があったのですが、東陵学園はへき地に当てはまらないため、国からの補助金はありません。

西山委員 国の補助は、統合するということで該当するのではないのですね。バスだけでなく、タクシーも利用している学校があったかと思いますが、それもこの債務負担行為に入っているのでしょうか。

学校教育課長 タクシー分も入っております。国の補助については、確認します。

西山委員 市がすべて負担するのは大変だと思い、国の補助がないのかと思ひまして質問しました。

国の基準は小学生が4 km以上、中学生が6 km以上だったかと思いますが、そこは変わったのでしょうか。

教育長 基準は変わっていませんが、市としては小学生が2 km以上であればスクールバスの対象とする考えであります。国の補助金については確認して報告をお願いします。

教育長 ほかにございますか。(なし。)
では、報告事項「令和6年伊万里市議会第4回定例会について」事務局から説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長 (報告事項について説明)

【議案質疑】

- ・コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例について
- ・教育振興奨励基金積立金について

【一般質問】

- ・SAGA2024 国スポ・全障スポについて
- ・タブレット端末による学習支援
- ・スペシャルサポートルーム設置について
- ・立花小学校屋外トイレの改修について
- ・教育行政について（不登校・学力向上対策・学校給食費無償化）
- ・伊万里湾大橋球技場について
- ・市内小学校・義務教育学校の遊具について
- ・教育行政について（タブレット端末・不登校・教育委員の構成）

【常任委員会】

- ・学校設置条例等の一部を改正する条例制定について

- 【報告】

藤田委員 タブレット端末の持ち帰りについて、学校での違いがあると伺いましたが、どのような違いなのでしょう。

藤田委員 自宅に持ち帰った際の故障に対して、保険とかありますか。

学校教育課学校支援係長 そのほか民間の保険もございますが、学校や市が取りまとめて加入するなどは行っていないため、それぞれの保護者に任せている状況で、なかには保険に入っていない保護者もいらっしゃいます。

学校教育課学校支援係長 学校で使用した際に故障した場合は公費で負担し、それに準じるものとして、学級閉鎖などで登校停止になった場合の学びの保障として利用した場合、登校できない児童生徒が家庭で利用した場合も公費で対応しております。通常の持ち帰り学習では保護者の保険の対応でとなっております。

5

ではなく、いろんな問題が生じていました。

教育長

一般質問では、タブレット端末を持ち帰ることを目的としない、なぜ持ち帰るのか、しっかりと目的を持って実施しなければならいと回答しております。このご時世、持ち帰りをさせないことはあり得ないので、推奨はしていきますが、ただ持って帰るだけということでは意味がないため、きちんと目的を持って取り組みたいと考えています。

西山委員

学級全体もしくは教科全体で、生徒の全員にこの課題をやってくるというやり方はできていないということでしょうか。

学校教育課長

オンラインの課題については、家庭によってインターネット環境が違うので、どうしても難しい状況です。一斉に持ち帰って学習する例の1つとして、星の観察を実施している学校があります。必要に応じて、目的を持って実施することとしております。

西山委員

保険に入っていないところも持ち帰っているのでしょうか。

学校教育課長

持ち帰りには保護者から同意書をもっており、その中にタブレット端末の故障についての記載があります。保険への加入・未加入に関わらず、持ち帰ってる状況です。

山口委員

同じ課題があっても、持ち帰りに同意しないご家庭の場合、持ち帰れない子もいるのでしょうか。

学校教育課長

確認はできていませんが、同意書がなければ持ち帰れないので、そういったケースもあるかと思えます。

教育長

タブレット端末の持ち帰りにはいろんな課題はありますが、実際持ち帰っている学校はほかの市町にもあるので、課題解決を図りながら、進めていきたいと考えております。

山口委員

タブレット端末について質問ですが、学校の先生が使用するにあたって、アプリケーション（以下「アプリ」）を利用していると思いますが、市から補助があつたりするのでしょうか。学校訪問に行った際に、ほとんどの教室で利用されているので、

先生方の負担がない形で推進していければと思いますがいかがでしょうか。

学校教育課学校支援係長 令和3年度から導入し、先生方もかなり使い慣れてきていらっしゃる中で、それぞれの学校、それぞれの先生がいろんなアプリを使われてきている現状があります。その中で無償のアプリやインストールが不要なものについては、使用していただいても構わないのですが、有料のものやインストールが必要なものであれば、有効性など検証し、予算も必要となります。まずは学校からどのようなアプリが良いのか、情報提供をお願いしているところです。有効性が高くて、どういったことで使用したいのかお聞きした上で、公費で入れるのか、どういった運用とするのか検討させていきたいと考えております。

山口委員 先生方の働き方改革にも繋がりますし、アプリを使いながら、どれが良いのか判断されるのは先生方かと思いますので、是非、先生方のお声をしっかりと聞いて頂きたいと思います。

教育長 ここでスクールバス運行に係る国の補助について説明をお願いします。

学校教育課学校支援係長 スクールバスについてはへき地における国の補助として、へき地児童生徒援助費等補助金があります。伊万里市でこのへき地に該当するのが、滝野地区と波多津地区の2地区であります。なので、この補助金を活用できるのは、滝野と波多津となりまして、この補助金の内容は、小学生で4km以上、小中学生で6km以上、且つ5年間までという縛りがある補助となっております。波多津は5年間経過しているため、補助は終わっており、滝野は今も補助を受けております。それ以外のスクールバスについては、直接的な補助はありませんが、市が負担するスクールバス運行に係る経費については普通交付税の算定基礎になっています。交付税措置には、距離の要件等はありませんが、定員が10人以上などの要件にあう通学に係るスクールバスであれば対象となっております。東陵学園については、直接の補助はありませんが、交付税措置の対象となっております。

西山委員 統合するからといって補助があるわけではないのですね。

学校教育課学校支援係長 そうですね。伊万里市でスクールバスの補助というのは、基

本的にはこのへき地児童生徒援助費等補助金しかありません。

教育長

それでは、全体を通して質問等がありますか。(なし。)

《休 憩》

教育長

11 月に福岡で開催されました市町村教育委員会研究協議会の研修報告を各教育委員さんからお願いします。

酒見委員

・学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について
沖縄の読谷村では、中学校が 2 校で生徒数が多く、部活動加入率は 50% で、特に困ってはならず、学校の先生も現状の部活動の在り方を望んでいた。

鳥栖市では体操やレスリングなど社会体育が多く、高校は全国レベルの実力となっている。他の種目については少子化のため維持が難しい状況。地域拠点方式か地域部活連携方式の 2 つの方式で部活によってどちらを取るのか、検討する会議を始めたところである。

宗像市は、生徒数も多く、1/3 (600 人) が社会体育に加入している。宗像アカデミッククラブを立ち上げ、10 種目と多種目であり、施設も持っているため、週末教えに来ている状況。福岡教育大学が近くにあり、指導者の確保もできている。ただし、年間 1 万円の会費がかかり、送迎等も必要で保護者の負担がある。平日の部活との関わりをどうするのかは今後協議されとのこと。

・地域と学校の連携・協働について

武雄市は小学校単位のコミュニティスクールがあり、中学校の参加はない。はなまる学習を中心に、地域や保護者の協力を得て実施。中学校との関わりが全くないのが今後の問題。ゲストティーチャーが多くいて、昔遊びなどの活動をしている。

笠間市は中学校区でコミュニティスクールがあり、交通支援など伊万里市と似ている印象であった。専門性の高い社会教育士を講師に招いて、学校運営協議会委員が学びを積み重ねている。

日向市は小中学校 9 年間のグランドデザインとする方向で進めたいということであったが、具体的にはまだのようであった。

藤田委員

・学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について

庄原市も伊万里市と同様に指導者確保が難しい状況。検討委員会を設置し、小学5年生から中学2年生にアンケートを実施。児童生徒と保護者は部活動継続を大半が希望していたが、教員には3割しか継続を望んでいない。教員にとっては働き方改革となるが、部活動だからこそ経済的にも移動手段の確保など出来ていたのが、出来なくなると生徒にとっては、マイナスとなると話をした。

・地域と学校の連携・協働について

コミュニティスクールについて、地域の伝統文化を中心にした運営で、そのほかにも防災教育や農業など地域との繋がりを築かれていた。どの市町村も課題と思っているのが、多忙な中に取り組むことは、働き方改革と言われる中で十分な時間を割けていない、一部の教員や保護者の役員などで地域の方も現役で働いている方の参加は難しいとのこと。教員や保護者の若い方の参加が今後のコミュニティスクールの存続や在り方などの課題であるとのことだった。

山口委員

・地域と学校の連携・協働について

地域とのかかわりが、他のテーマにも繋がると感じた。地域の子どもたちをどう育てるか、まずは地域のことを学ばせるためには、行事に参加させることでと話した。神崎市では、学校運営協議会の中に人材バンクを作っており、登録者も増え、活動が濃くなってきている。地域の偉人を読んで学ばせるような取り組みをなされている。地域と学校との連携となったときに、まずは校長先生がその地域のことを学んでいただくことが大事であるとの意見があり、伊万里市はその点、校長先生が地域と一緒にあって誇れるものだと感じた。いかに地域を大事にしてくれる子どもたちを育てられるかが重要であると感じた。

・不登校対策について

不登校の児童生徒は増加傾向で、要因としてはコロナ、ほかにはヤングケアラー、親子関係の希薄化など。環境によって子どもは変わるものであり、地域との関わりが必要であることから、清掃活動や料理教室などを実施されている。不登校の子どもさんを持つ保護者同士が会話をできる場所があっていいなと思った。学校内でのサポートできる体制の方が教室に戻れる

ようになるのではとの意見もあった。

西山委員

・地域と学校の連携・協働について

地域の人に支えられ学んでいくことで、地元を離れた子どもたちが帰ってくるところを目指す取り組みをなされていた。ふるさとの廃校を利用して、フェスティバルを開き子どもたちを招くなど、地域事業を盛り上げられていた。

・不登校対策について

北海道の文教大学内に教育支援センター「学びの森」を試行開設されていた。大学に通う教員志望者が講義の合間にボランティアで教えに来てくれるとのこと。こういった研修でアイデアをいただいて、違った視点から居場所づくりが考えられればと思い事例を紹介した。

教育長

・地域と学校の連携・協働について

学校と地域がWinWinの関係になっているのか、地域は学校があって成長する、学校は地域があって子ども達が成長するという形をしっかりと意識していく必要がある。

・学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について

どこも課題は共通で、指導者の確保や移動手段であるが、一番問題と考えたのはどこが進めているのか。スポーツ庁なのか文部科学省なのか。国も手探りで進めている状況。働き方改革もあるが、子ども達が活動できる場所をきちんと確保していくことを目的として進めていくことが大事である。部活を学校の教育から本当に外せるのか、はっきりとしていない中、今後の方向性を見ながら進めていく必要がある。

教育長

研修報告ありがとうございました。

その他に移ります。

次回の定例教育委員会の日程についてお願いします。

教育総務課総務企画係長

次回の定例教育委員会の日程については、1月24日（金）、13時30分から第3会議室で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長

よろしいでしょうか。（はい。）

それでは、次回は1月24日（金）13時30分から定例教育委

員会を行います。よろしくお願いします。

次に、行事予定等の事務連絡をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長	(行事予定等について説明)
生涯学習課長	(行事予定等について説明)
スポーツ課長	(行事予定等について説明)
国スポ・全障スポ推進課長	(行事予定等について説明)
市民図書館長	(行事予定等について説明)
学校教育課長	(行事予定等について説明)

教育長 行事予定等、事務連絡がございました。ご質問等がありますか。(なし。)

教育長 全体を通して質問等ございますか。(なし。)
それでは、以上をもちまして、令和 6 年 12 月の定例教育委員会を閉会します。

(16 時 00 分 閉会)